

Just join us! 目を向けよう、世界に。

第1日目



8月7日

初日は40名近い高校生たちが集まり、CCCメンバーや大学生インターンと緒になって相互に交流しながら、世界のことを学びあいました。メインプログラムのひとつ「カンボジアの若者との手紙交換」に向けて、相手の国のことを真剣に考えます。

青春の手紙でつなぐ、知らない「今」と未来の「自分」

高校生国際協力サマーセミナー開催!

自分自身の在り方や生き方について真剣に悩み、考え始める時期を迎えた高校生を対象に、世界の現状や多様な人間の在り方を知り、自ら考えてもらう機会を提供する「サマーセミナー」。今年度は北大や道教育大札幌校の学生を中心とする「CCC世界の子どもをつなぐ教室」実行委員会と協力して開催しました。開発途上国に生きる同年代の若者との交流を通じて、高校生は何を見つけたのでしょうか。

青春の悩み、カンボジアでもある?

第2日目



第3日目

もどへ、CCCメンバーがカンボジアから持ち帰ったばかりの手紙が届けられました!手紙と同封の写真を見た時の高校生の表情は、なんとも言えない、温かいものでした。

そして2週間後...再び集った高校生たちの期待と不安が入り混じりながらも、自分のこと、家族のこと、友達、恋愛、部活...それぞれの思いを精一杯綴りました。



2日目の午後は、カンボジアNGO学校に通う同年代の若者たちに向けて、手紙で青春の悩みを打ち明けました。まだ見ぬ文通相手に対する期待と不安が入り混じりながらも、自分のこと、家族のこと、友達、恋愛、部活...それぞれの思いを精一杯綴りました。

8月8日・22日

ストリート・チルドレンと私たちの明日

第4日目



8月23日

そんな熱いメッセージに対するお礼と平和への願いを込めて、参加者全員が手形をとりました。達成感にあふれた表情の写真を添えて、インドへ贈ります!

最終日は、ユニセフの講師による講演を聞き、ドキュメンタリーDVDを観て、児童労働の厳しい実態を新たに学びました。インドからのビデオレターには、児童労働をなくすため、日本の仲間と協力して大きな取り組みにしたいとのメッセージもあり、現地で直接触れ合ってきたCCCメンバーの話に、食い入るような眼差しで聞き入っていました。



(JICA札幌市民参加協力課 教育長期社会体験研修員/新谷浩一)

北の国から日中友好

地方自治体の技術を活かした国際協力

旭川市
ハルビン市
草の根技術協力
密着レポート

中国ハルビン市と友好都市提携を結んでいる旭川市。JICAの草の根技術協力事業を活用して、省エネルギー技術を活かした住宅建築技術の普及をテーマに、ハルビン市に対する技術協力に取り組んでいます。3年目を迎えた今年7月、ハルビン側から3名の研修員を受け入れました。約1カ月間、施工監理についての講義を受けたり、建築現場を視察したり、日中の技術者どうしが密着して旭川市の技術が伝えられました。研修員からは、「技術面はもちろん、旭川市都市建築部関係者の熱心な勤務態度やていねいな指導、ホストファミリーの温かいおもてなしの心に感銘を受けた。日本の印象を人から聞いたことはあったが、自分で実

体験できてよかった」「これまでの2年間の技術協力が活かされ、すでにハルビンの建築現場では日本の技術が導入され始めている。自分もこれから省エネ技術の普及に向けて貢献したい」と頼もしい声を聞くことができました。10月下旬には、旭川市側から3名の専門家がハルビン市を訪れ、現地での技術指導に当たります。3年間の協力の集大成として、省エネ建築技術を網羅したマニュアルが完成する予定ですが、お互いの顔が見える交流を通じて、草の根レベルで日中の友好関係が深まったことこそが一番の成果なのかもしれません。

(JICA札幌市民参加協力課/徳田小矢子)

▲前列左から姚さん、孟さん、盛さん。
後列は旭川市都市建築部のみなさんと、通訳の金さんです。